

平成13年度のバランスシートと 行政コスト計算書を作成しました

長引く景気低迷の影響を受け、市の財政状況は厳しさを増しています。このため、より一層効率的な財政運営を進めることが求められています。

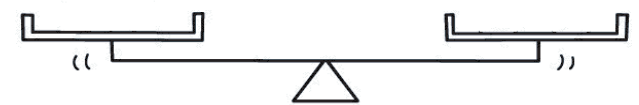
民間企業の会計では、貸借対照表や損益計算書を使って、資産内容や経営状況がわかるようになっていますが、市の会計は、地方自治法の規定に基づいて、1年ごとに区切って、現金の出入りを経理する方式をとっているため、1年間の収入や支出の状況はわかりませんが、市の資産・負債の状況やさまざまな行政サービスの提供に要したコスト（資源の消費）などについては、わかりにくいものとなっています。

そこで、市においても資産・負債の状況や行政コストなどを把握し、分析することによりその内容を市民の皆さんにお知らせするとともに、今後の財政運営に役立てていこうと、昨年は、11年度と12年度のバランスシート（貸借対照表）を作成しましたが、このたび、13年度のバランスシートを作成するとともに、企業会計の損益計算書に相当する行政コスト計算書を初めて作成しました。

なお、このバランスシートと行政コスト計算書は、総務省の全国統一様式の作成マニュアル（説明書）に基づいて、普通会計により作成しています。

※普通会計II地方財政を统一的に掌握し、各地方公共団体の財政比較を容易に行うための概念上の会計区分で、福生市の場合、一般会計（基本的な会計）と同じ会計範囲になります。

| 借方 | 貸方 |
|---|--|
| 有形固定資産 学校、公園、道路など 798億4千万円(784億3千万円) うち土地 365億7千4百万円(345億8千4百万円) | 負債 将来の負担となる額で、地方債(借入金)、市職員の退職給与引当金など 157億3千1百万円(157億7千6百万円) |
| 投資等 基金、出資金など 106億1千8百万円(114億3千3百万円) | 正味資産 資産形成のために使った国、都からの補助金、市税などの一般財源 779億7千万円(774億3千万円) |
| 流動資産 財政調整基金、現金など 32億7千9百万円(33億4千3百万円) | |
| 資産合計 937億1百万円(932億6百万円) | 負債・正味資産合計 937億1百万円(932億6百万円) |



バランスシート
バランスシートは、決算時点（3月末）で市が保有する土地や建物等の資産の状況と負債等の資金調達状況を一覧表にまとめたもので、借方にはこれまで

取得・築造した土地・建物や基金等、将来に残る財産が「資産」として計上されます。また、貸方には地方債（借入金）の残高、市職員の退職給与引当金等、将来の世代の人たちが負担しなければならない額が「負債」として計上され、資産形成のために使った国・都支出金の額、市税等の一般財源の額、つまり、今までの世代の人たちが負担した額が「正味資産」として計上されます。

13年度は、12年度と比較し、借方では、下の川緑地（仮称）新設事業等の実施により、土地・建物等の有形固定資産の項目は13億7千4百万円増加しましたが、投資等の項目で、土地開発基金の廃止等により、8億1千5百万円減少し、流動資産の項目で、歳計現金の減額等により、6千4百万円減少したため、資産合計は、4億9千5百万円の増加となりました。

一方の貸方は、地方債の若干の減額等により、負債合計は、前年度より4千5百万円減少し、また、正味資産合計は、国・都支出金、一般財源等を合わせて、5億4千万円増加しました。

※土地や建物等の資産は、統計処理の都合により昭和44年度以降に取得・築造したものを対象に、取得時の価格で計上し、建物等は一定の計算により減価償却（使用や時の経過等に対応し、資産価値を減少させること）します。

また、「収入項目」については、地方公共団体が一年間の行政活動によって得た収入を表しており、公共施設の使用料や塵芥処理手数料などの「使用料・手数料」が40億8千6百万円、

行政コスト計算書は、人的サービスや給付サービスのような資産形成につながるようなさまざまな行政サービスの提供に要したコスト（資源の消費）について1年間の状況を明らかにしたもので、そのコストには、現金の支出だけでなく、建物等の減価償却費など、現金以外の支出も計上します。

また、「収入項目」については、地方公共団体が一年間の行政活動によって得た収入を表しており、公共施設の使用料や塵芥処理手数料などの「使用料・手数料」が40億8千6百万円、

また、「収入項目」については、地方公共団体が一年間の行政活動によって得た収入を表しており、公共施設の使用料や塵芥処理手数料などの「使用料・手数料」が40億8千6百万円、

また、「収入項目」については、地方公共団体が一年間の行政活動によって得た収入を表しており、公共施設の使用料や塵芥処理手数料などの「使用料・手数料」が40億8千6百万円、

また、「収入項目」については、地方公共団体が一年間の行政活動によって得た収入を表しており、公共施設の使用料や塵芥処理手数料などの「使用料・手数料」が40億8千6百万円、



バランスのとれたハーモニー
～市民音楽祭にて～

| 行政コスト | | 合計 | 民生費 | 教育費 | 衛生費 | 土木費 | その他 |
|--------------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----|
| 人にかかるコスト 職員人件費、議員報酬など | 4,086 | 621 | 1,166 | 219 | 368 | 1,712 | |
| 物にかかるコスト 消耗品、光熱水費、減価償却費など | 5,243 | 527 | 1,477 | 1,002 | 1,292 | 945 | |
| 移転支的コスト 高齢者や児童などの手当、一部事務組合への負担金など | 8,885 | 5,530 | 249 | 1,360 | 762 | 984 | |
| その他のコスト 地方債（借入金）返済金のうち利子分など | 481 | --- | --- | --- | --- | 481 | |
| 合計 A | 18,695 | 6,678 | 2,892 | 2,581 | 2,422 | 4,122 | |

| 収入項目 | | 合計 | 民生費 | 教育費 | 衛生費 | 土木費 | その他 |
|-------------|---------------|--------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 使用料、手数料等 | 807 | 323 | 58 | 104 | 171 | 151 | |
| 国、都支出金 | 3,877 | 2,788 | 154 | 246 | 342 | 347 | |
| 小計 | 4,684 | 3,111 | 212 | 350 | 513 | 498 | |
| 一般財源 | 13,627 | | | | | | |
| 収入 B | 18,311 | | | | | | |

| | | |
|-----------------|-----|-----------------------------------|
| 正味資産国、都支出金償却額 C | 755 | ※バランスシートの有形固定資産の減価償却に伴い償却する国、都支出金 |
| 一般財源等増減額 B+C-A | 371 | ※収入から行政コストを控除した金額 |

問合せ財政課財政係